

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成27年11月4日(水) 11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

発表事項

1. 教授の着任について (11/1)
2. 山形大学附属博物館がリニューアルオープンします
3. 「奥の細道マイスター養成事業」及び「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」公開講座について
4. 鶴岡市において8回目のBISTRO下水道推進戦略チーム会合を開催します
5. 第43回 山形大学模擬裁判公演のお知らせ
6. 地域で活躍する学生サークル紹介～山形大学SCITAセンター学生スタッフ～

お知らせ

1. 公益財団法人東北活性化研究センターとの相互協力の覚書締結
2. 鶴窓会庄内支部主催講演会「夕日を釣り上げた男」を開催します
3. 人文学部4年の田川友子さんが「大学院早期学修プログラム」を履修しています
4. 創部3年目のフェンシング部が全国大会で準優勝しました
5. 医学部5年の橋本紗枝子さんが全日本大学女子駅伝で力走しました

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成27年11月17日(火)11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

学長定例記者会見（11月4日）発表者

1. 教授の着任について（11/1）

学術研究院（医学担当） ^{つちや}土谷 ^{のりひこ}順彦 教授

2. 山形大学附属博物館がリニューアルオープンします

山形大学附属博物館学芸員・学術研究院（基盤教育担当） ^{さとう}佐藤 ^{こと}琴 講師

3. 「奥の細道マイスター養成事業」及び「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」公開講座について

山形大学附属博物館学芸員・学術研究院（基盤教育担当） ^{さとう}佐藤 ^{こと}琴 講師

4. 鶴岡市において8回目のBISTRO下水道推進戦略チーム会合を開催します

学術研究院（農学担当） ^{わたなべ}渡部 ^{とおる}徹 教授

5. 第43回 山形大学模擬裁判公演のお知らせ

人文学部法経政策学科3年 ^{おおた}太田 ^{こうへい}孝平 さん 第43代実行委員会委員長

同 2年 ^{みなみ}南 ^{としみつ}俊光 さん

同 3年 ^{あだち}安達 ^{みほ}美穂 さん

6. 地域で活躍する学生サークル紹介 ～山形大学SCITAセンタースタッフ～

理学部物質生命化学科2年 ^{すどうりょうたろう}須藤良太郎 さん

平成27年11月4日
山形大学

教授の着任について (11/1)

平成27年11月1日、学術研究院に1名の教授が着任しました。

本学では、今年4月からすべての教員が学術研究院に所属しております。

各教員は各学部・各研究科等における教育課程を担当する教員として当該学部・研究科等に配置されます。

このたび、広く国民の皆さまに知っていただくため、役員会で了承した教授採用人事について学長定例記者会見でお知らせいたします。

採用年月日： 平成27年11月1日

氏名： 土谷 順彦（つちやのりひこ）

専門分野： 泌尿器外科学

（お問合せ先）
山形大学総務部人事課 小野
電話 023-628-4023

平成27年11月4日
山形大学

山形大学附属博物館がリニューアルオープンします

60年以上の歴史を誇る山形大学附属博物館は、小白川図書館3階から人文学部1号館1階に場所を移し、11月27日（金）にリニューアルオープンします。

1. 山形大学附属博物館

山形大学附属博物館では、5月から休館し移転作業を実施してまいりました。このたび移転作業も終了し、11月27日（金）に装いも新たに開館いたします。

開館に合わせ各種の催事を開催いたします。

2. リニューアルオープンを記念した特別展「山を見るひと」を開催します

会 期 平成27年11月27日（金）～平成28年1月29日（金）

※オープンから12月26日（金）までは休まず開館します。

※入館料は無料です。

3. 記念イベントを開催します。

（1）オープンセレモニー

日 時 平成27年11月26日（木）15：30～16：30

会 場 山形大学附属博物館

内 容 テープカット 招待者への内覧会、ギャラリートーク

（2）講演会「文化財科学は人文科学と自然科学を結ぶ」

講 師 長友恒人（日本文化財科学会会長・前奈良教育大学長）

日 時 平成27年11月27日（金）16：30～18：00

会 場 山形大学人文学部1号館301教室

（3）シンポジウム「景観の何が人をひきつけるのか 文学・美術・科学の視点から」

パネリスト 居駒永幸（明治大学教授）

岩田修二（東京都立大学名誉教授）

佐藤 琴（山形大学附属博物館学芸研究員・講師）

コーディネーター 八木浩司（山形大学附属博物館長・教授）

日 時 平成27年11月28日（土）13：30～16：00

会 場 山形大学基盤教育2号館221教室

(4) 展示解説

①高橋由一・源吉の作品解説（新出の高橋源吉作品を展示します！）

講 師 小林俊介（山形大学地域教育文化学部教授）

大場詩野子（絵画保存修復家）

日 時 平成27年12月5日（土）13：30～

②月山マイスターによる展示解説

日 時 平成27年12月12日（土）・19日（土）13：30～



新博物館外観（人文学部1号館1階）



結髪土偶

（お問合せ先）

山形大学附属博物館

学芸研究員・講師 佐藤 琴

電話 628-4930

山形大学附属博物館リニューアル



山形の文化遺産を未来に伝承するために。

利用案内

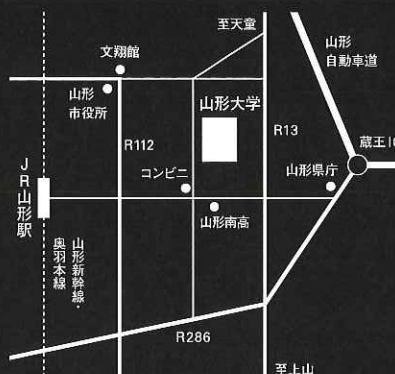
【場所】〒990-8560 山形県山形市小白川町1丁目4-12 (山形大学人文学部1号館1階) 【入館料】 無料 【開館時間】 9:00～17:00
 【休館日】 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始

※その他、展示替え等により臨時休館する場合があります。ホームページの開館カレンダーをご参照の上ご来館ください。

アクセス

- 山形駅東口より東方約2km
- 山形駅東口より徒歩約25分
- 山形駅東口より県庁前行きバスで約7分／南高前(山大入口)下車徒歩7分
- 仙台駅より山形行き高速バスで約65分／南高前(山大入口)下車徒歩7分

※仙台～山形間の高速バスは平日80便、土日祝日66便運行しています。



山形大学附属博物館

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12
 TEL : 023-628-4930
 FAX : 023-628-4668
 EMAIL : hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
 URL : <http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/>



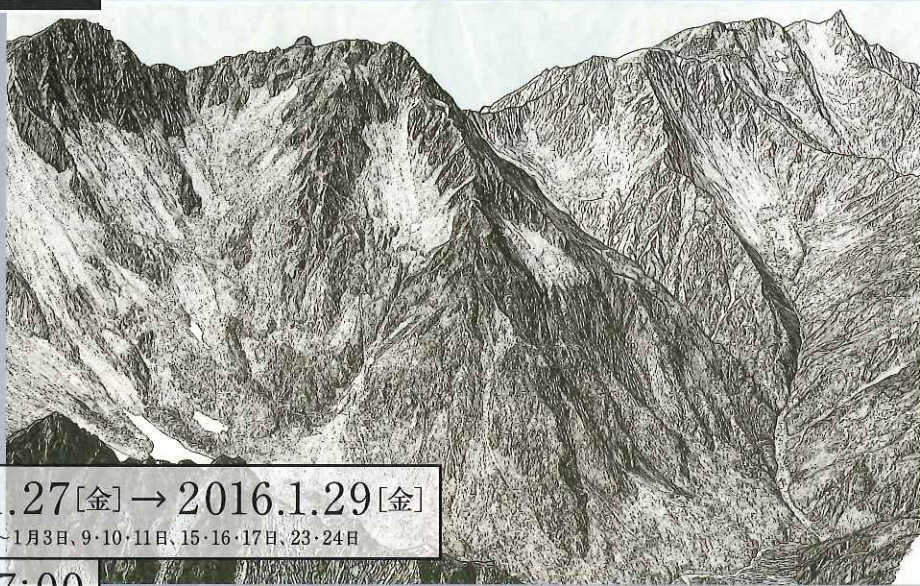
◎記念講演会 文化財科学は人文科学と自然科学を結ぶ

日時 = 2015.11.27 [金] 16:30-18:00 (事前申込不要・聴講無料)
 会場 = 山形大学基盤教育1号館132教室
 講師 = 長友恒人 (日本文化財科学会会長・前奈良教育大学長)

11.27 RENEWAL OPEN

五百澤智也

「槍・穂高連峰」
(銅人葺)



2015.11.27[金] → 2016.1.29[金]

休館日=12月26日~1月3日、9・10・11日、15・16・17日、23・24日

9:00-17:00

入場無料



林霞峰

「湯殿山道中略図」
(山形大学附属博物館蔵)

◎関連イベント

高橋由一・源吉の作品解説

日時=2015.12.5[土] 13:30-

講師=小林俊介(山形大学地域教育文化学部教授)
大場詩野子(絵画保存修復家)

月山マイスターによる展示解説

日時=2015.12.12[土]・19[土] 13:30-

事前申込不要・参加無料



◎記念シンポジウム

景観の何が人をひきつけるのか

文学・美術・科学の視点から

日時=2015.11.28[土] 13:30-16:00

会場=山形大学基盤教育2号館221教室

パネリスト=居駒永幸(明治大学教授)

岩田修二(東京都立大名教授)

佐藤琴(山形大学附属博物館学芸研究員・講師)

八木浩司(山形大学附属博物館長・教授) ※コーディネーター

事前申込不要・参加無料

高橋由一

「西田川郡押切村新道より烏海山を望む図」
(山形大学附属博物館蔵)

山を見るひと

山形大学附属博物館
リニューアルオープン特別展

平成27年11月4日
山形大学

「奥の細道マイスター養成事業」及び「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」公開講座について

「続・よみがえる東北文化」と題して、山形大学が実施する「奥の細道マイスター養成事業」の一般公開及び松島町教育委員会が実施する「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」の成果報告を行います。

山形大学では平成24年度から一般市民を対象に、奥の細道についてのボランティアガイドを養成する「奥の細道マイスター養成講座」を開講しています。

今年度で3年目となり、宮城県松島町を会場に上級講座を開催いたします。上級講座を開催するにあたり、講義の一部を公開講座として広く一般に開放します。

あわせて、松島町でも、平成25年度から地域に埋もれた文化遺産に光を当て、地域の活性化に役立てるための調査を行っており、その成果の一部を報告するとともに、今後の活動予定について紹介します。

◆日時：平成27年12月5日（土）13：30～16：00

◆会場：松島町文化観光交流館 大ホール（宮城県宮城郡松島町磯崎字浜1-2）

◆募集定員：200名（受講料 無料）※申込みが必要です。

◆内容：

開会挨拶（13：30～13：40）

第1部 講演（13：40～14：40）

第2部 パネルディスカッション（14：50～16：00）

◆受付期間：平成27年11月9日（月）～12月1日（火）

（お問合せ先）
山形大学EM部社会連携課
電話 023-628-4016

続・よみがえる東北文化

山形大学では、平成24年度から一般市民を対象に、奥の細道についてのボランティアガイドを養成する「奥の細道マイスター養成講座」を山形県・宮城県内で開講しています。

今回、宮城県松島町で上級講座を開講するにあたり、講義の一部を公開講座として広く一般に開放します。

あわせて、松島町でも、平成25年度から地域に埋もれた文化遺産に光を当て、地域の活性化に役立てるための調査を行っており、その成果の一部を報告するとともに、今後の活動予定について紹介します。

〈プログラム〉

開 会 挨拶 13:30～13:40

第1部 講 演 13:40～14:40

演題：「中世松島の風景 — 雄島海底板碑群の紹介 —」

講師：七海 雅人（東北学院大学教授）

第2部 パネルディスカッション 14:50～16:00

テーマ：「芭蕉が見た17世紀末の松島の風景」

パネリスト：七海 雅人（東北学院大学教授）

本木 成美（松島町教育委員会 教育課生涯学習班 学芸員）

荒木 志伸（山形大学准教授）

佐藤 琴（山形大学講師）

コーディネーター：山本 陽史（山形大学教授）

日 時 平成27年度

12月5日（土）13:30～16:00

場 所 松島町文化観光交流館 大ホール

（宮城県宮城郡松島町磯崎字浜1-2）

※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

受講料 無料

定 員 200名（先着順）

※事前申込みが必要です。
申込方法は裏面をご覧ください。

お問合せ・お申込み

山形大学エンrollment・マネジメント部社会連携課

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL:023-628-4016 FAX:023-628-4491

E-mail: embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学 奥の細道マイスター養成事業

奥の細道マイスター養成事業は、元禄2年（1689年）の芭蕉のみちのくの旅を学んで東北の歴史・文化について語ることでできるボランティアガイドの育成を行いつつ、大震災後の東北の文化によるネットワークを構築する取り組みです。

本事業は、初級・中級・上級からなり、各講座を毎年1回開講しています。初級は、山形市山寺、中級は山形県庄内地方、上級は宮城県多賀城市・松島町で実施しています。

皆さんも“奥の細道マイスター”を目指してみませんか？



奥の細道マイスター養成講座の様子

松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業（平成27年度文化庁補助事業）

～地域に埋もれた文化遺産に光を～

松島町には意外と知られていない貴重な文化遺産があり、平成25年から実行委員会を組織して文化庁から補助を受けて、調査と活用に取り組んでいます。これまで瑞巖寺周辺の岩窟調査や、観瀾亭松島博物館の資料のデータベース化に取り組んできました。

今年度は地域の文化遺産をめぐる文化遺産散策マップや観瀾亭のデジタル復元等に取り組んでいます。

当日は、会場内の一室で事業の成果を紹介します。



山形大学荒木准教授らの岩窟調査風景

山形大学 「奥の細道マイスター養成事業」
松島町教育委員会 「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」（平成27年度文化庁補助事業）

「続・よみがえる東北文化」

参加申込書

ふりがな 代表者氏名			
代表者住所	〒	—	
電話番号	—	—	FAX — —
e-mail	@		
複数人でのお申込みの場合は、参加希望者全員のお名前（ふりがな）を下記にご記入ください。			
申込み人数	同行者氏名（ふりがな）		
人			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

◆受付期間：平成27年11月9日（月）～12月1日（火）

※ 公開講座の受付は先着順となります。

◆申込方法：上記参加申込書に必要事項をご記入の上、郵送・FAX・e-mailのいずれかでお申込みください。

◆お申込先：山形大学EM部社会連携課
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
F A X : 023-628-4491
e-mail : embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成27年11月4日
山形大学

鶴岡市において8回目のBISTRO下水道推進戦略チーム会合を開催します

11月24日に鶴岡市にてBISTRO下水道推進戦略チーム（山形大学も参加）が8回目の会合を開催します。今回の会合では、平成26年度に国土交通省の下水道技術研究開発公募（GAIAプロジェクト）で採択された「下水処理水再利用による飼料用米栽培に関する研究」について、担当する山形大学農学部食料生命環境学科の渡部徹教授が講演します。また、世界で活躍中の鶴岡市出身奥田政行シェフによる講演「鶴岡が食文化都市になるまで（仮称）」、奥田政行シェフと2015年度ミス日本「水の天使」柴田美奈さんがコラボした料理等の実演イベント、参加団体における好事例の紹介なども行われます。

【BISTRO下水道推進戦略チーム第8回会合の概要】

1. 日時：平成27年11月24日（火）13:45～18:15（予定）
2. 会場：鶴岡市（にこふる） 鶴岡市泉町5-30
3. 会合参加者；8地方公共団体、大学（学生含む）、法人、企業、農業関係者等、計35名程度で構成
※報道関係者による取材は可（一般の参加は不可）
4. 会合；※時間は若干変更する可能性があります
第一部）開会・挨拶 13:45～（予定）
講演・発表 13:55～16:45（予定）
（山形大学渡部徹教授、奥田政行氏、国交省、鶴岡市、JA鶴岡、神戸市、佐賀市等）
第二部）下水道資源を用いて栽培された食材の味分析・講評 16:50～18:15（予定）
（奥田政行シェフ、2015年度ミス日本「水の天使」柴田美奈）
5. BISTRO下水道推進戦略チームとは？

下水処理場には、水・資源・エネルギーが集まってきます。これらの資源は、農業や水産業等に活用可能な地域資源として注目されており、全国の自治体では、下水道資源（処理水・汚泥・CO2・熱等）の有効利用の促進に向けて様々な取組が進められています。しかし、それらの情報を交換する場が少ないことや、リーダー養成の仕組みが整っていないことなどから、好事例が水平展開し難い状況にあります。

そこで、平成25年8月より、国土交通省及び日本下水道協会は、下水道資源の有効利用に取り組んでいる地方公共団体、関連する民間企業、大学（山形大学も参加）等のネットワークである「BISTRO（ビストロ）下水道推進戦略チーム」を設置し、定期的な会合を農産地で開き、情報の共有化を図っています。また、「BISTRO下水道推進戦略チーム」は、本年6月に「下水道が生み出すチカラ ～新しい“いのちの循環”～」と題して2015ミラノ国際博覧会に出展し、各地域で展開されている下水道資源利用に係る多様な取組、「食の生産」に貢献可能な我が国が誇る水処理技術などを世界に発信してきたところです。

第8回の会合を、日本有数の稲作地帯である庄内平野に位置し、だたちゃ豆や在来作物でも有名な鶴岡市で開催できることを大変光栄に思います。

【会合の趣旨・取材等に関する問合せ先】

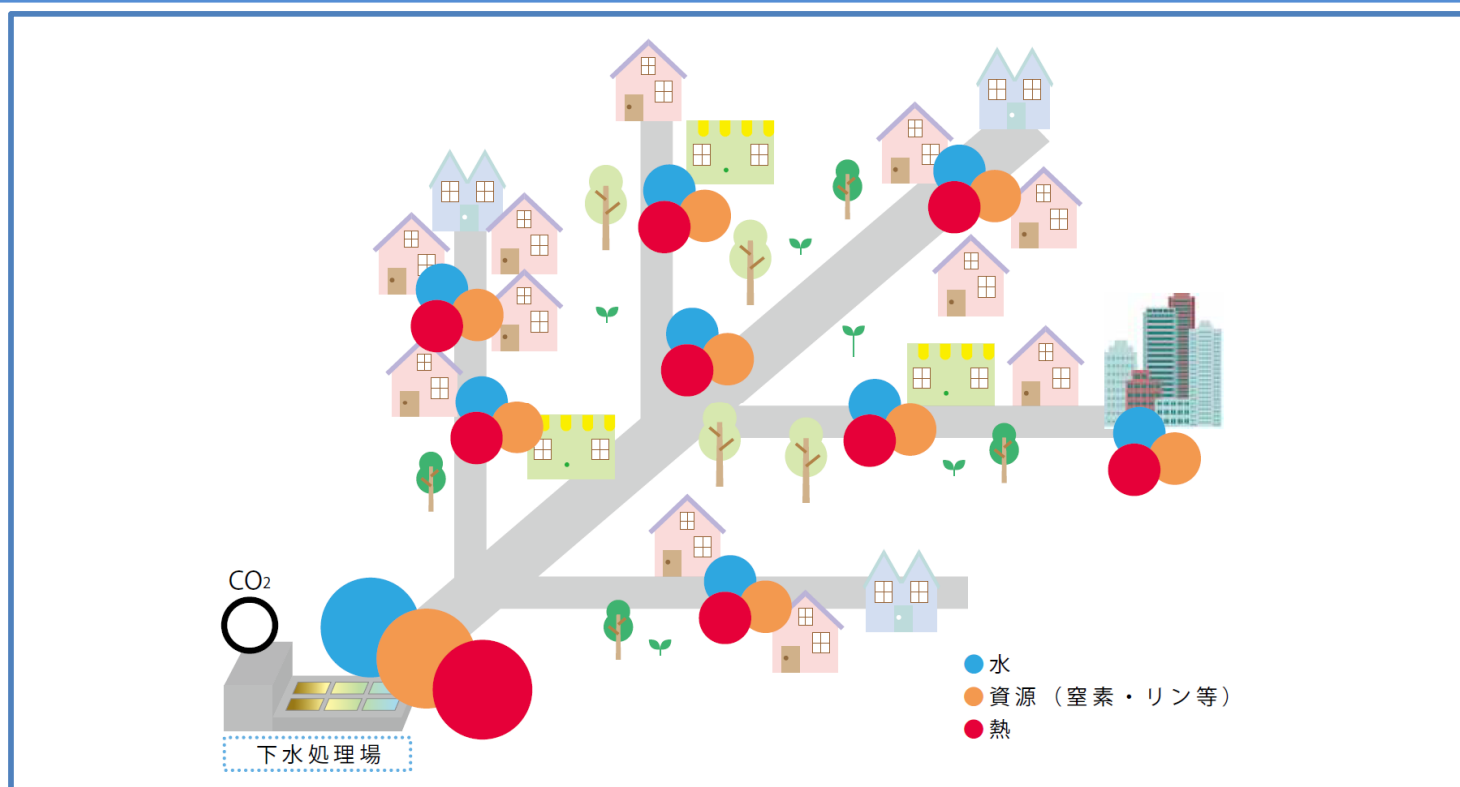
国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付 小川、端谷

電話：(03)5253-8111（内線34315） 直通：(03)5253-8432 ファックス：(03)5253-1597

食と下水道の連携について～集まる資源～

下水道に集まる資源

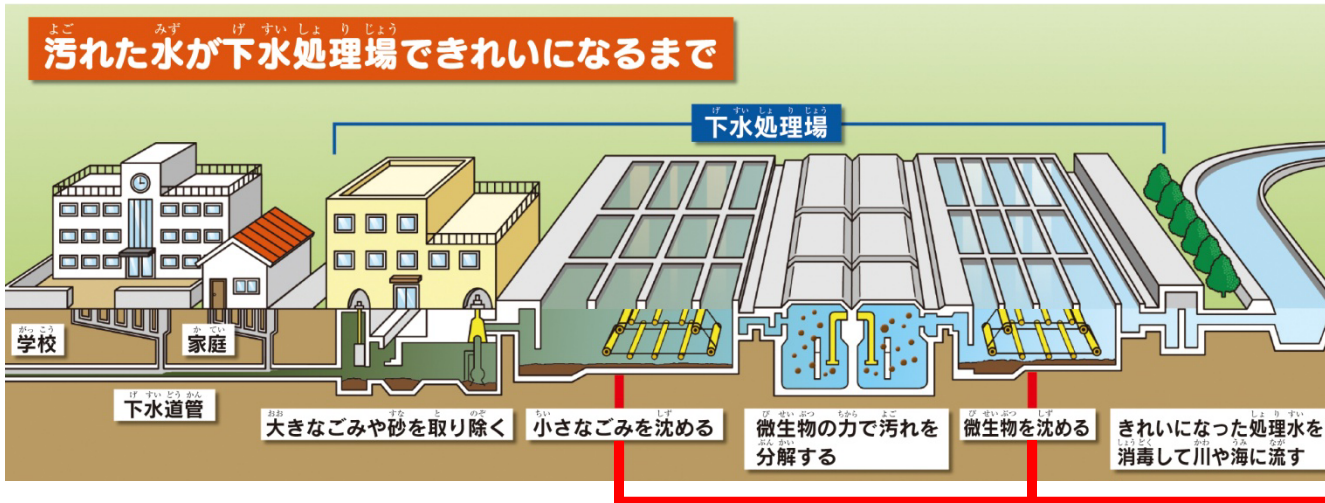
- 家庭等から出る水や資源(窒素・リン等)、さらには熱が下水管を通じて下水処理場に集まっている。
- これらは農業等に有用であり、特に窒素、リンは肥料の三大要素として知られている。
- 下水処理場では処理の過程等でCO₂を排出しており、CO₂も植物の光合成に必要な要素。



下水処理場には、農業等に有用とされている窒素、リン、熱、CO₂等の下水道資源が集まっている。

食と下水道の連携について～集まる資源～

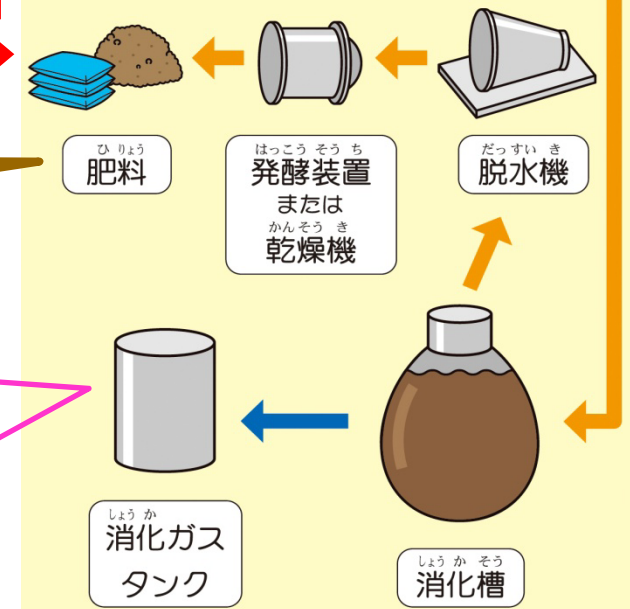
下水道に集まる資源



下水処理場で、水がきれいになる過程で、汚泥が集まります。

生まれ変わる汚泥

汚泥とは処理場で水をきれいにする時に汚れを食べてくれた微生物のかたまりです。



肥料の利用

高知：イチゴ



おいしい作物を育てる肥料として利用しています。

バイオガスの利用



バイオガスの熱エネルギーを利用して、試験的にトマトの栽培をしています。

食と下水道の連携について～美味しい食材のサポーター～

下水道資源の農業利用 ～美味しい食材のサポーター～

○地域の水、資源、熱が集まった下水処理場における①処理水、②肥料、③熱・CO₂ を利用し、作物を作る取組みが全国各地で進められている。

○「美味しくなった」、「生育が良くなった」等、農家から好評を得ている地域もある。

①処理水

栄養塩を含んだ処理水を利用した水稲



③熱・CO₂

CO₂をハウス内での栽培に活用



②肥料

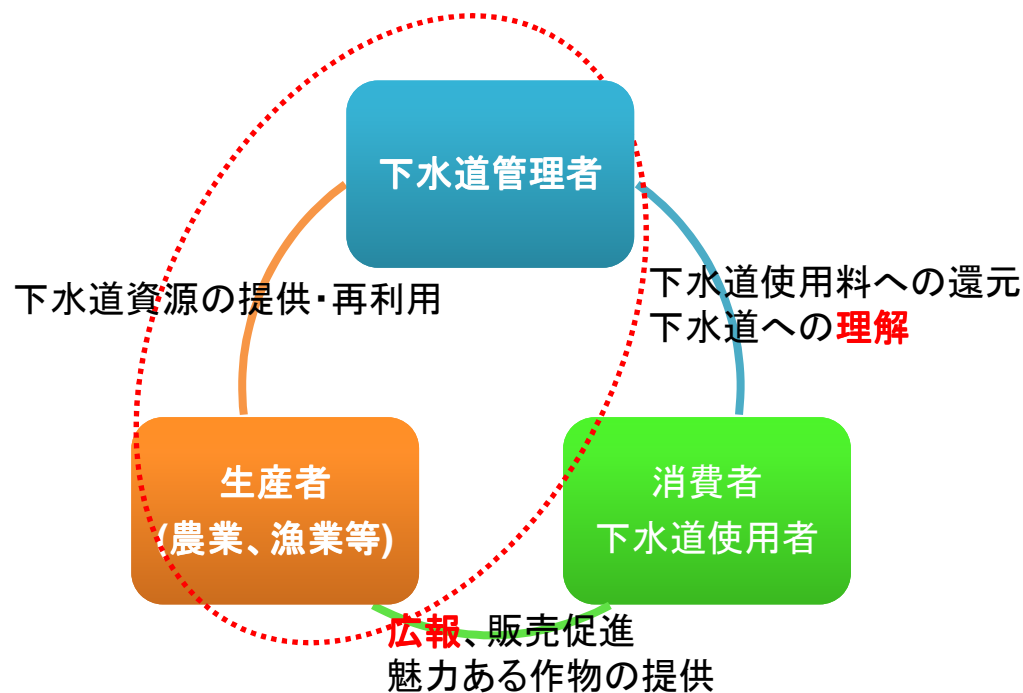
下水汚泥を発酵して肥料化



食と下水道の連携について～BISTRO下水道推進戦略チーム～

好事例の発掘と水平展開～BISTRO下水道推進戦略チーム～

全国の自治体では、下水道資源の有効利用の促進に向けて様々な取組が進められているものの、それらの情報を交換する場が少ないことや、リーダー養成の仕組みが整っていないことなどから、好事例が水平展開し難い状況。このため、平成25年8月にBISTRO下水道推進戦略チームを設置し、下水道資源(処理水、汚泥等)の有効利用を既に行っている**事例等の情報の水平展開、商品の広報・魅力向上、イノベーション等**により下水道資源の更なる有効利用を促進。これまで、北海道帯広市、佐賀市、広島県廿日市市、北海道岩見沢市等、農産地において会合を実施。平成27年11月24日に第8回目となる会合を鶴岡市で開催。



ジャガイモ (八戸市)



アスパラ (佐賀市)



サトウキビ (奄美市)

情報の水平展開

- 先進地域の情報共有
(農業利用までのプロセス、ハウツー)

商品の魅力向上

- レシピブックの作成
(魅力ある作物カタログ)
- 販売戦略
(エコ農業)

イノベーション

- 民間企業の最新技術紹介
(コンポスト化等)

下水道がよりよい食を作ります！～BISTRO下水道の取り組み～

下水道資源を活用して栽培した作物

食と下水道の連携

● 茶色の地域では下水汚泥からつくった肥料を使用！
 ● 水色の地域では下水の再生水を使用！
 ● ピンク色の地域では下水処理過程で発生する熱・CO₂を使用！

北海道
 上川郡和歌町：作付面積、生産量日本一！北海道和寒町のかぼちゃ
 北海道 帯広市：砂糖の原料甜菜！国内生産は北海道だけ！
 北海道 帯広市：水みずしさと甘味が特徴のダイコン
 北海道 帯広市：長いも、寒暖差が育む旨み、輸出も好評
 北海道 帯広市：ジャガイモ、越冬ものは糖度も増して絶品
 北海道 帯広市：米の生産量国内一！品質の高い作物いっぱい！
 北海道 帯広市：おいしさ最上級！「ゆめぴりか」！
 北海道 帯広市：身がしまって日持ちがいい！たまねぎ！
 北海道 帯広市：美の里1番 (ニンニク)
 北海道 帯広市：美の里1番 (ジャガイモ)

秋田県
 秋田名物「いぶり大根漬け」

青森県
 第8回会合を開催(鶴岡市)

新潟県
 新潟県 新潟市：こらべ再生リンで育った甘くて美味しいスイートコーン
 新潟県 新潟市：食の循環、早く実になる再生水(米)
 新潟県 新潟市：循環型農業の展示圃(米)
 新潟県 新潟市：岐阜市の再生資源「岐阜の大地」

山梨県
 山梨県 山梨市：海苔の摘みとり
 山梨県 山梨市：元気な養殖スポン

長野県
 長野県 長野市：アーティチョークのつぼみ
 長野県 長野市：たまねぎ
 長野県 長野市：アスパラガス

静岡県
 静岡県 静岡市：太陽を浴び青々と茂る水稲(8月)
 静岡県 静岡市：稲刈りを待つばかりの水稲(10月)

愛知県
 愛知県 豊田市：B-DASHの肥料で育った甘いトマト

岐阜県
 岐阜県 岐阜市：美味しい阿蘇トマト

京都府
 京都府 京都市：豊かな自然の宝物(黄金千貫)
 京都府 京都市：小学校での花壇づくり

兵庫県
 兵庫県 神戸市：緑のカーテン(ニガウリ)

徳島県
 徳島県 徳島市：試験栽培(とうもろこし)

香川県
 香川県 高松市：甘みたっぷりのイチゴ

岡山県
 岡山県 岡山市：ニンニク

広島県
 広島県 広島市：小学校での田植え

福岡県
 福岡県 福岡市：再生水・CO₂熱を使った水耕栽培実験中
 福岡県 福岡市：下水処理場育ちの桃太郎トマト
 福岡県 福岡市：CO₂を使い、海苔工場ではアオリを養殖

鹿児島県
 鹿児島県 鹿児島市：小学校での田植え

熊本県
 熊本県 熊本市：豊かな自然の宝物(黄金千貫)

大分県
 大分県 大分市：小学校での田植え

佐賀県
 佐賀県 佐賀市：海苔養殖に配慮し、成長期の冬に栄養塩を多く供給

※平成27年7月末までに情報提供のあった自治体マップ

海外への発信事例 ~ BISTRO下水道 ミラノ国際博覧会に出展 ~

平成27年6月、「地球に食料を、生命にエネルギー」をテーマに開催されているミラノ国際博覧会の日本館に、「下水道が生み出すチカラ」をコンセプトに出展。我が国が誇る、食の生産に貢献可能な「水・資源・エネルギー循環」による、下水道技術を世界にアピール！



処理水の活用事例



生産者・消費者の声

生産者

大きく育って驚いた。甘くておいしい健康野菜を食べてみて下さい。(佐賀市資料)

レストランオーナー

丸ごとローストした玉ねぎは「一回使うと他の食材が使えないほど甘い」。イタリアンレストラン「ピッツェリアアロータス」(福岡市中央区)

BISTRO下水道推進戦略チーム 第8回会合【山形県鶴岡市】

◆会合の概要

日時：平成27年11月24日（火）
 ◇会合：11/24日 13:45～
 ・場所：鶴岡市（にこふる）
 ・講演：山形大学渡部教授、奥田政行シェフ等
 ・参加団体：自治体、法人、大学、企業、JA等農業関係者
 ・事例発表：鶴岡市、JA鶴岡、神戸市、佐賀市等
 ・実演：下水道資源を用いて栽培された食材の味分析
 （奥田政行シェフ、ミス日本「水の天使」柴田美奈さん）

◆奥田政行シェフ



◆2015年度ミス日本「水の天使」柴田美奈



ミス日本「水の天使」は、世界の水インフラの発展に貢献できる日本の素晴らしい経験と技術をわかりやすく伝える役割。水のインフラへの理解と関心を高めるイベント活動やPR活動を展開

◆食文化創造都市 鶴岡市



創造都市ネットワークとは、2004年にユネスコが採用したプロジェクトのひとつ。文学・映画・音楽・工芸・デザイン・メデキアアート・食文化の創造産業7分野から、世界でも特色ある都市を認定するもの。

◆奥田政シェフのプロフィール(抜粋)

- 1969年：山形県鶴岡市生まれ
- 2000年：アル・ケッチャーノを独立開業
- 2004年：山形県庄内支庁より「食の都庄内」親善大使に任命
- 2005年：イタリア マルケ州アルチェヴィアより表彰
- 2006年：イタリア スローフード協会国際本部主催で世界の料理人 1000人に選出
- 2008年：庄内浜文化伝道師マイスターに任命
- 2009年：東京銀座に「ヤマガタ サンダンデロ」をオープン
鶴岡市農業発展奨励賞を受賞
- 2010年：FOOD ACTION NIPPON アワード2009にて優秀賞受賞
第1回「辻静雄食文化賞」を受賞
農林水産省より第1回料理マスターズ ブロンズ賞を受賞
- 2011年：スペイン サンセバスチャン美食祭り世界大会、日本大使館にて料理担当
- 2012年：スイス ダボス会議に於いて「Japan Night2012」料理責任監を務める など



ただちや豆の圃場



鶴岡市コンポストセンター



下水道技術研究開発(GAIAプロジェクト)

○国土交通省では、地域毎に異なる下水道の政策課題の解決を目的として、大学等の研究機関が有する先端的な技術の活用や実用化を促進し、成果の普及を図るため、平成26年度から下水道技術研究開発(GAIAプロジェクト)を実施。(GAIAプロジェクト: Gesuido Academic Incubation to Advanced Project)

- 食と下水道の連携に関する技術研究開発(H26～)
- 下水処理における微生物電池活用に関する技術研究開発(H26～)
- 都市浸水対策に関する技術研究開発(H27～)
- 流域全体における資源・エネルギーの最適管理に資する技術研究開発(H27～)

■技術研究開発テーマ名:
微生物燃料電池による省エネ型廃水処理のための基盤技術の開発
■研究代表者:
岐阜大学流域圏科学研究センター 廣岡佳弥子 准教授

■技術研究開発テーマ名:
都市域路面排水の低環境負荷型処理による用途別水資源としての利用可能性の検討
■研究代表者:
京都大学地球環境学 田中周平 准教授

■技術研究開発テーマ名:
下水処理施設の高品質資源回収・流域リスク低減拠点化を目指したオゾン処理導入技術開発
■研究代表者:
京都大学大学院工学研究科 日高平 助教

■技術研究開発テーマ名:
雨天時に市街地から流出するノンポイント汚濁負荷量の予測モデル開発
■研究代表者:
広島大学大学院工学研究院 尾崎則篤 准教授

■技術研究開発テーマ名:
地域の汚水組成とその長期変化に応じて最適処理プロセスを設計するための技術
■研究代表者:
北九州市立大学国際環境工学部 安井英育 教授

■技術研究開発テーマ名:
都市型水害軽減に向けた土壌改良による流出抑制技術の構築
■研究代表者:
九州大学持続可能な社会のための決断科学センター 飯島伶 助教

■技術研究開発テーマ名:
下水汚泥を用いた高付加価値きのこの生産技術及びその生産過程で発生する廃培地・炭酸ガスの高度利用技術の開発
■研究代表者:
鹿児島工業高等専門学校 山内正仁 教授

■技術研究開発テーマ名:
好塩古細菌を用いたカリウム資源回収の実用化に関する技術開発
■研究代表者:
北海道大学大学院工学研究院 高橋正宏 教授

■技術研究開発テーマ名:
下水処理水再利用による飼料用米栽培に関する研究
■研究代表者:
山形大学農学部 渡部徹 教授

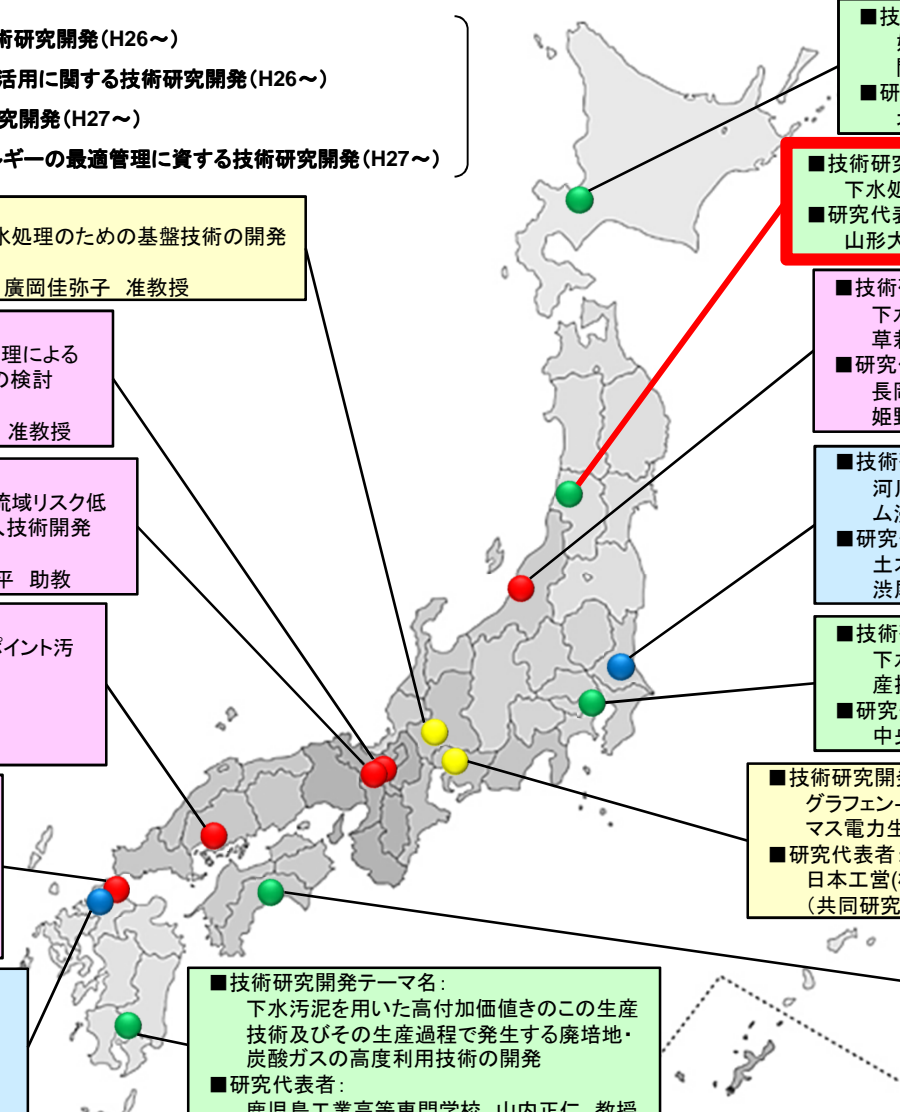
■技術研究開発テーマ名:
下水道資源・エネルギーを最大限に活かした希少水草栽培および微細藻類培養・エネルギー生産
■研究代表者:
長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻 姫野修司 准教授

■技術研究開発テーマ名:
河川・下水道のシームレスモデルを用いたリアルタイム浸水予測手法の開発
■研究代表者:
土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター 洪尾欣弘 専門研究員

■技術研究開発テーマ名:
下水を利用して培養した微細藻類による漁業飼料生産技術の開発
■研究代表者:
中央大学理工学部 山村 寛 助教

■技術研究開発テーマ名:
グラフェン-酸化グラフェン還元微生物複合体を用いたバイオマス電力生産技術の下水処理施設への適用検討
■研究代表者:
日本工営(株)上下水道部 飯田和輝 次長
(共同研究者:名古屋工業大学 吉田奈央子 助教)

■技術研究開発テーマ名:
消化汚泥の肥料利用に関する研究
■研究代表者:
高知大学教育研究部 藤原拓 教授



【山形大学】下水処理水再利用による飼料用米栽培に関する研究～イノベーション(GAIA)～

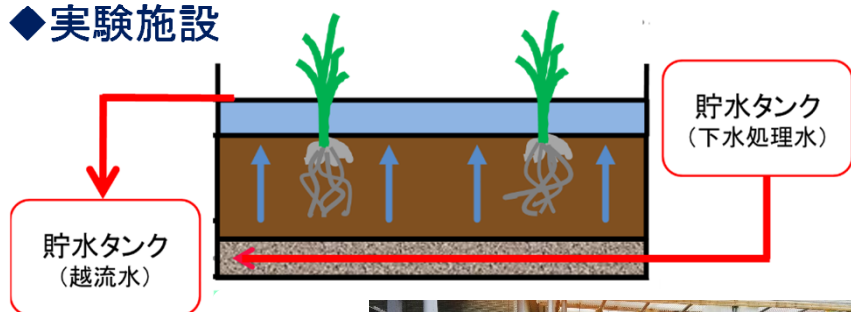
<概要>

- 国土交通省では、地域毎に異なる下水道の政策課題の解決を目的として、大学等の研究機関が有する先端的な技術の活用や実用化を促進し、成果の普及を図るため、下水道技術研究開発公募(GAIAプロジェクト)を実施。
- 研究名:下水処理水再利用による飼料用米栽培に関する研究(H26年度採択)
- 研究者:山形大学農学部食料生命環境学科 渡部徹教授
- 実施時期:平成26年度～27年度

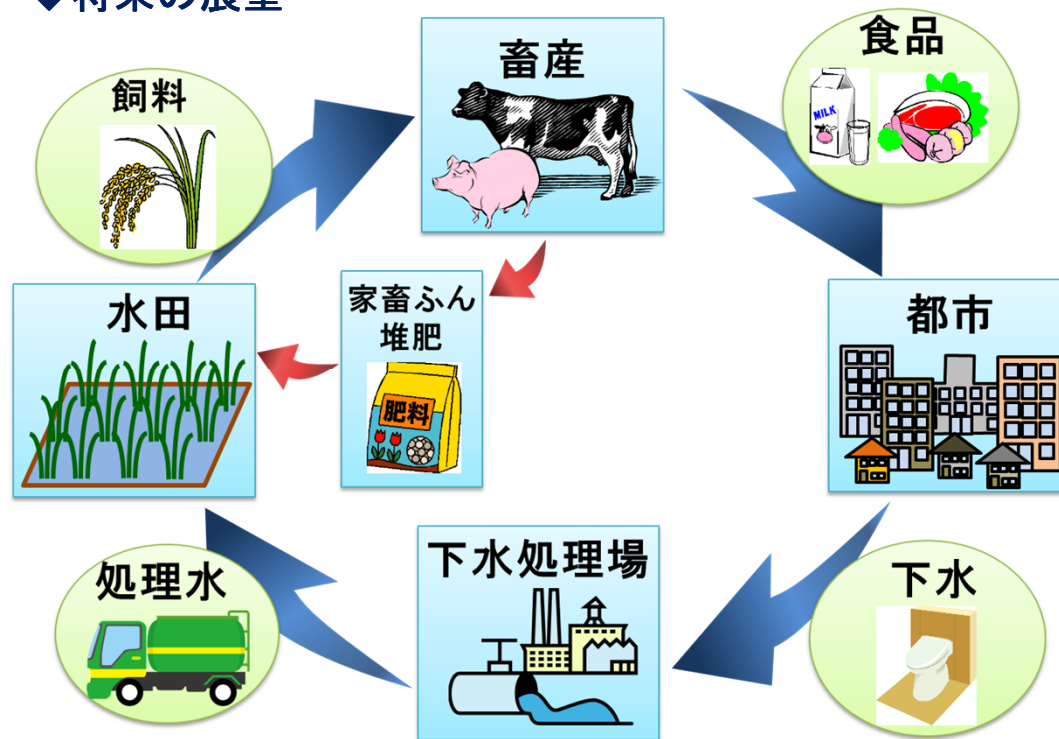
◆研究の目的

- 多肥栽培が可能な飼料用米の栽培において、窒素濃度が高い下水処理水を灌漑利用することで、処理水の浄化作用と水稲の収穫の両立を目指す研究
- 灌漑用水を利用する水田を模した実験装置を設置し、「飼料用米の収量と品質」、「農業従事者と家畜に対する健康リスク」、「下水処理水の水質改善効果」、「水・肥料の消費量」等を評価

◆実験施設



◆将来の展望



本技術により、現在の耕畜連携にとどまらず、農村と都市を巻き込んだ資源循環システムの構築を目指す

平成27年11月4日

山形大学

第43回山形大学模擬裁判公演のお知らせ

山形大学模擬裁判実行委員会は、年に1度、模擬裁判という裁判劇の公演を行い、研究成果を発表しています。この活動は今年で43年目になります。

・模擬裁判とは

山形大学模擬裁判実行委員会とは、山形大学人文学部の1年生から4年生を中心に構成される人文学部の組織で、その研究成果発表が年に一度の模擬裁判という裁判劇の公演です。

模擬裁判の目的はこの裁判劇を市民の皆様に観ていただくことで、法律を身近に感じ、その時代時代が抱える社会問題について考えていただくきっかけを作ることにあると考えています。

・模擬裁判実行委員会の設立経緯

元々、山形大学には経済学を学ぶ「経済系」のコースしかなく、次第に学生の中で「法律を学びたい!」という意見が出始めました。「法律系」のコースを作るには何か実績を残す必要があり、そこで誕生したのが山形大学模擬裁判実行委員会(「もぎさい」)でした。珍しいのは、経済学を学ぶ学生が立ち上げたという点です。

山形大学「もぎさい」発足前、東北大学には既に「もぎさい」があり、その影響も少なからずあったという話もあります。現在では、東北大学、金沢大学、岩手大学の「もぎさい」と交流があります。

・公演内容

テーマ : 「疑惑の目」

日時 : 12月11日(金) 開場17時30分 開演18時00分

12月12日(土) 開場14時30分 開演15時00分

場所 : 山形市中央公民館 (az七日町6F)

チケット : 前売り250円、当日300円 (山形生協 八文字屋本店POOL

十字屋山形店 Corich(ネット販売))



(お問合せ先)

第43代山形大学模擬裁判実行委員会

委員長 太田孝平

(人文学部法経政策学科3年)

kokemomaru@gmail.com

080-3338-1921

第43回 模擬裁判公演

疑惑の目

彼女を信じますか？

それでも貴方は——

12月11日(金) 開場17:30 / 開演18:00

12月12日(土) 開場14:30 / 開演15:00

山形市中央公民館 (az 七日町 6F)

〈入場料金〉前売り券250円 / 当日券300円
(大学1年生、高校生以下無料)

〈チケット取扱い〉山形大学生協 / 八文字屋本店 POOL
十字屋山形店 / CoRich(ネット販売)

お問い合わせ
080-3338-1921(委員長 太田)

Facebook→<http://facebook.com/mogisai42>
Twitter→<http://twitter.com/mogisai43>
MOGISAL.net→<http://mogisai.net>



あなた『も』裁判官。

テーマは「冤罪」——。

平穏な家庭に突如訪れた悲劇。一家全員が放火によって殺害された。容疑者として起訴されたのは第一発見者の洋子であった。

悲痛な遺族の叫び。意思をもたない世論。弁護士と検察官のプライドの衝突。交錯する裁判に今、判決が下される。そして洋子は……。

彼女を信じるか、信じないか。あなたも「疑惑の目」で考えてみてください。

①「演劇」じゃなくて、わざわざ「模擬裁判劇」を観る

“メリット”なんてあるの？

A. “メリット” → 「模擬裁判劇」 = 「法律知識」 + 「演劇」

- ① 演劇を観ながら、わかりやすく法律知識、冤罪問題を学べる!!
- ② たった2時間で裁判の流れがわかる!!
- ③ 予備知識など一切不要!!

昨年度、500名を動員！スタッフ総勢100名超！

山形県、山形地方裁判所など20団体より後援！

高校生・大学1年生以下無料！完全オリジナルストーリー！

◎毎年12月はあま七日町で「山形大学模擬裁判」！

もぎさい 冤罪

検索

※予告動画もホームページにて絶賛公開中！！

【主催】山形大学模擬裁判実行委員会 【協賛】あま七日町会

【後援】山形県 山形県教育委員会 山形市 山形市教育委員会 山形県弁護士会 山形地方検察庁 山形地方裁判所

株式会社山形テレビ 株式会社あくらんぼテレビジョン 山形 にじふ二メディア放送 株式会社テレビー山形

株式会社ケーブルテレビ山形 株式会社エフエム山形 VigoFM78.8MHz 山形新聞・山形放送 河北新報社 朝日新聞山形楽団

読売新聞東京本社山形支局 毎日新聞山形支局 NHK山形放送局

当日にこのチラシを持参で、前売り価格にて当日チケットを販売！！

平成27年11月4日

山形大学

地域で活躍する学生サークル紹介

～ 山形大学SCITAセンター学生スタッフ ～

「地域創生」をビジョンの1つとする山形大学では、学生が地域で様々な活躍をしています。今回は、「山形大学SCITA（サイタ）センター学生スタッフ」をご紹介します。

山形大学SCITA（Science for Tomorrow in our Area）（サイタ）センターは、理科学習の普及活動を促進するための本学独自のプロジェクトである「やまがた未来科学プロジェクト」に基づいて、科学的思考能力を備えた将来の山形あるいは日本を支える人材を育成する目的で平成20年に設置しました。

現在、理学部をはじめ全学部の63名の学生がSCITAセンター学生スタッフとして地域の皆さんに科学の楽しさを伝えるために、山形県内・県外で開催されるイベントにブースを出店し自宅に持ち帰ることのできる理科実験を提供する等の活動をしています。



科学で東北を盛り上げ隊！@石巻
偏光板万華鏡作り



日本一の芋煮会フェスティバル
実験カーダンス

（お問い合わせ先）

栗山 恭直

電話：023-628-4506

Mail:kuriyama@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

平成26年度山形大学SCITA学生スタッフ活動実績一覧

実施月日	場 所	イベント名	実施内容	来場者数 (延べ数)	参加学生 スタッフ数
平成26年 4月29日(火・祝)	TUY次世代住宅展示場シマカラ	シマカラ	全反射カード	20	15
平成26年 5月10日(土)	学童	土曜の科学①	ベンハムのコマ お笑いお守り	6	8
平成26年 6月 8日(日)	米沢市あら町商店街	ドラマチック戎市	芳香剤 入浴剤	100	6
平成26年 6月14日(土) 平成26年 6月15日(日)	寒河江市チェリーク ア・パーク	ゆめタネ@さがえ	ペットボトルロケット	150	20
平成26年 6月28日(土)	NDソフトスタジアム	モンテディオ試合前イベント	クロマトグラフィー	100	5
平成26年 7月 5日(土)	学童	土曜の科学②	紫キャベツのカラフル水溶液	6	5
平成26年 7月 5日(土)	おいたまサロン「ふわっと」	科学実験教室	発泡入浴剤 電気クラゲ	20	2
平成26年 8月 1日(金) 平成26年 8月 6日(水) 平成26年 8月 7日(木)	山形大学 SCITAセンター	夏休み自由研究サ ポート講座	小中学生の自由研究 をサポート	10	15
平成26年 8月 3日(日)	NDソフトスタジアム	モンテディオ試合前イベント	プラ板	65	6
平成26年 8月 3日(日)	イオンモール三川	夏だ！科学体験教室	芳香剤	110	7
平成26年 8月 9日(土)	霞城セントラル・アトリウム	青少年のための科学の祭典	全反射カード	150	7
平成26年 8月16日(土) 平成26年 8月17日(日)	日本科学未来館 (東京・台場)	サイエンスリンク	ぷよぷよ芳香剤	650	5
平成26年 8月17日(日)	NDソフトスタジアム	モンテディオ試合前イベント	カラフルカプセル	80	5
平成26年 9月14日(日)	馬見ヶ崎河畔	日本一の芋煮会フェスティバル	プラ板キーホルダー	250	10
平成26年 9月20日(土)	さくらんぼTV本社駐車場	さくらんぼテレビ祭り	スライム 全反射カード	400	11
平成26年 9月27日(土)	イオンモール石巻	科学で東北を盛り上げ隊！@石巻	入浴剤	250	13
平成26年 9月28日(日)	キャンパス・イノベー ションセンター(東京)	科学・理科体験教室	紫キャベツのカラフル水溶液 クロマトグラフィー	150	6
平成26年10月 4日(土)	酒田市体育館	さかた産業フェア2014	空気砲	70	10
平成26年10月 5日(日)	米沢市あら町商店会	ドラマチック戎市	プラ板キーホルダー	35	7
平成26年10月11日(土)	尾花沢市サルナート	尾花沢ふれあいまつり	全反射カード	160	9
平成26年10月18日(土) 平成26年10月19日(日)	山形大学小白川 キャンパス	八峰祭	人工イクラ 透明標本の展示	100	41
平成26年10月25日(土) 平成26年10月26日(日)	山形ビッグウイング	山形環境展	芳香剤	500	14
平成26年11月 3日(月・祝)	山形県立博物館	博物館の日イベント	カラフルカプセル	200	12
平成26年11月23日(日)	亘理町中央公民館	ガリレオ工房のサイエン スフェスティバルin亘理 町2014	偏光万華鏡	70	8
平成26年11月29日(土)	学童	土曜の科学③	液状化実験	8	5
平成26年12月13日(土)	KUMON	科学実験教室	チリメンモンスターをさがせ！ 岩石を調べてみよう！	16	5
平成26年12月14日(日)	山形県産業科学館	科学実験教室	偏光板万華鏡	70	10
平成26年12月20日(土) 平成26年12月21日(日)	法政大学小金井 キャンパス	全国科学教育ポラン ティア大会	ポスターセッション	30	6
平成27年 2月28日(土)	石巻市遊楽館	科学で東北を盛り上げ隊！@石巻	芳香剤	250	17
総計	実施イベント 29			4026	290



山形大学 SCITA センター

SCIENCE for Tomorrow in our Area

SCITAセンターとは

山形大学 SCITA センターは、理科学習の普及活動を促進するための本学独自のプロジェクトである「やまがた未来科学プロジェクト」に基づいて、科学的思考能力を備えた将来の山形あるいは日本を支える人材を育成する目的で設置されました。「市民が理科好きになれる山形モデル」として、子供から大人までさまざまな企画を通して山形県をはじめ近隣の地域の皆さんにおもしろいサイエンスや本格的な実験に触れる場を提供しています。

SCITA

約60名分の実験スペースがあり、イベントの準備もここでを行います。



ミーティングルーム

科学に関する資料やおもちゃが揃っており、SCITAセンターに来た人たちに楽しんでいただけます。

▼ 今年度学生スタッフ



学生スタッフ

SCITAセンター学生スタッフは、学生約60名で構成されています。山形県内・県外で開かれるイベントにおいてブースを出店し、そこで自宅に持ち帰ることのできる理科実験を提供しています。そのほか、加茂水族館から頂いたクラゲや、エンゼルフィッシュ、メダカといった生物、透明標本などのSCITAセンター内の常設展示も行っています。SCITAセンター学生スタッフは地域の皆さんに科学の楽しさを伝えるために活動しています。

平成26年度活動記録

- | | | | |
|----|-------------------|-----|--------------------|
| 4月 | シマカライベント | 9月 | 科学で東北を盛り上げ隊！ @石巻 |
| 5月 | 土曜の科学（年4回） | | 科学・理科実験教室in東京 |
| 6月 | ドラマチック戒市(米沢) | 10月 | さかた産業フェア |
| | ゆめタネ@さがえ | | ドラマチック戒市(米沢) |
| | モンディオ試合前イベント(他2回) | | 尾花沢ふれあいまつり |
| 8月 | イオンモール三川 | | 山形大学八峰祭 |
| | 夏休み自由研究サポート | | やまがた環境展 |
| | 青少年のための科学の祭典 | 11月 | 博物館の日 |
| | サイエンスリンク(東京科学未来館) | | サイエンスフェスティバル in巨理町 |
| 9月 | 日本一の芋煮会フェスティバル | 12月 | 万華鏡を作ろう in産業科学博物館 |
| | さくらんぼテレビ祭り | 2月 | 科学で東北を盛り上げ隊！ @石巻 |





実験紹介



私たちがイベントで行った実験の方法・原理を紹介します。

ふよふよ芳香剤

概要

この実験では、吸水性ポリマーの性質を使用して、芳香剤を作ります。

材料

・吸水性ポリマー	0.3g	・水	35ml
・アロマオイル	5滴	・絵の具	少量
・プリンカップ	1個		

使用する道具

- ・スポイト
- ・ゴム手袋
- ・ゴーグル
- ・割りばし



原理説明

この芳香剤を作る際に使用する「吸水性ポリマー」は、自分の 100~1000 倍もの重さの水を吸収します。その性質を利用してアロマオイルを薄めた色水を保水させ、蒸発を防ぐことで香りを長持ちさせます。

作り

- ① ゴーグルとゴム手袋をつける。
- ② プリンカップに水を入れる。
- ③ カップに好きな色の絵の具を入れて色水を作る。
- ④ カップにアロマオイルを入れる。
- ⑤ カップに吸水性ポリマーを入れる。
- ⑥ 割りばしでかき混ぜ、ジェル状になったら完成。

注意点

- ◆ 絶対に食べないで下さい。
- ◆ 吸水性ポリマーが目に入ると危険ですので実験ではゴーグルをつけてください。目に入った場合は大量の水ですぐに流して下さい。
- ◆ アロマオイルが手に着くと匂いが落ちにくいのでゴム手袋の着用をお勧めします。
- ◆ 流しには絶対に流さないでください。吸水性ポリマーが膨張し詰まりの原因になります。

カラフルカプセル

概要

一般的に人エイクラと呼ばれているものに絵の具で色を付けたものです。インテリアとして楽しめます。

材料

・1%アルギン酸ナトリウム水溶液	30ml
・1%乳酸カルシウム水溶液	100ml
・絵の具	適量

使用する道具

- ・スポイト
- ・小瓶
- ・スプーン
- ・コップ



原理説明

アルギン酸ナトリウムを溶かした水にカルシウムイオンを加えると、ゼリーのように固まります。これを「ゲル化」と言います。

作り

- ① アルギン酸ナトリウム水溶液に絵の具で色を付ける。
- ② アルギン酸ナトリウム水溶液をスポイトでとり、乳酸カルシウム水溶液に1滴ずつたらす。
- ③ カラフルカプセルをスプーンで小瓶に移し、水を入れ、空気が入らないように気を付けてふたを閉めて完成。

しゅわしゅわ入浴剤

概要

入浴剤にはいくつかの種類がありますが、今回紹介するのは固形の入浴剤です。家庭にあるものを使って作ります。

材料

・重曹	25g	・クエン酸	20g
・エタノール	10滴	・食紅	0.1g
・アロマオイル	3滴		

使用する道具

・紙コップ	・割りばし	・ゴム手袋
・スポイト	・ビニール袋	

原理説明

入浴剤の材料を水に溶かすと、重曹は「アルカリ性」に、クエン酸は「酸性」になります。「アルカリ性」と「酸性」が混ざると『中和反応』がおきます。重曹とクエン酸が起こす『中和反応』では二酸化炭素が発生するので、入浴剤を水に入れると泡が出てくるのです。

作り

- ① 紙コップの中に重曹とクエン酸を入れ、ダマがなくなるまで割りばしでかき混ぜる。
- ② 紙コップに食紅とアロマオイルを入れ、かき混ぜて色と香りをつける。
- ③ 紙コップにスポイトを使ってエタノールを少しずつ入れる。エタノールの量は、湿度や温度によって変わるので、手で押し固められるくらいになるように量を調整する。時々手で触って確認するとよい。
- ④ ③で出来たものをビニール袋に入れて包み、好きな形に握って押し固めれば完成。



注意点

- ◆ 絶対に食べないで下さい。
- ◆ アレルギーがあるなど、肌が弱い方は使用を控えて下さい。
- ◆ 実験を始める前にゴム手袋を着用して下さい。

生き物紹介

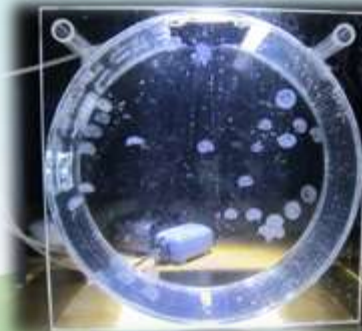
SCITAセンターでは、ミズクラゲ、エンゼルフィッシュ、ドジョウ、メダカ、キンギョを飼育し、訪れた子供たちに見て楽しんでもらっています。

今回は、SCITAセンターの生き物の中で、看板ともいえるミズクラゲの紹介をしたいと思います。

ミズクラゲは、世界各地の海に生息する一般的なクラゲです。他のクラゲよりも頑丈な体を持ち、設備さえ整えてしまえば比較的飼いやすい種類です。SCITAセンターでは、丸型水槽を用いて、エアーポンプで水流を起こして飼育しています。また、クラゲの生活環の中でのポリプと呼ばれる幼体も別水槽で飼育しており、成体が死んでしまった時に成長させていつでもミズクラゲを見られるようにしています。



▲ エンゼルフィッシュ



◀ 丸型水槽

クラゲは自力で泳ぎ続けることが出来ないため、水流を起こす必要があります。この水槽は、側面からエアーを出して円状の水流を起こし、クラゲが沈むのを防ぎます。

▼ ミズクラゲ



今年度の新たな取り組みについて

今年度も私たちは、実験を通して子どもたちや地域の方々に科学への興味をもっていただくよう様々なイベントで活動を行ってきました。特に今年度は去年度までの活動に加え、山形県米沢市で行われた『ドラマチック戎市』、東京の日本科学未来館で行われた『サイエンスリンク』など新たなイベントにも多数参加しました。また、サイエンスショーや実験教室、夏休み自由研究サポートといった新たな取り組みも行いました。

8月初旬には SCITA 学生スタッフが、以前から取り組みたいと考えていた「夏休み自由研究サポート」にチャレンジしました。初日はまずどんなことに関心があるかなどのお話を聞き方向性を決める作業、2日目以降は、それぞれのテーマで実験・まとめを行いました。通常のイベントでは短時間で楽しく、かつわかりやすい事がポイントになりますが、今回のように時間をかけてじっくり付き合うのはこれまでなかったため、準備からサポートの進め方などスタッフにとっても、たくさんの学びがありました。

9月のイオンモール石巻では「大気圧」についてのサイエンスショーを行いました。身近にある空き缶や吸盤といったものを使った実験から、大気圧の力を使ってボウリング玉を持ち上げる実験、大気圧に関するクイズなどを子どもたちに体験してもらいながら実施しました。実際にやってみると、改善点や他のグループから学ぶことも多かったため、今後はそれを踏まえ生かしていきたいと思えます。



 山形大学
SCITAセンター

〒 990-8560

山形県山形市小白川町一丁目4-12

TEL : 023 - 628 - 4506

FAX : 023 - 628 - 4506

MAIL : scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

WEB : mirai.scita.jp



SCITA学生スタッフ twitter
QRコードを読み取る、または
@SCITAYamagata で検索



▲ SCITAセンター

▼サイエンスカー



○アクセスマップ



山形大学小白川キャンパス/理学部



平成27年11月4日
山形大学

1. 公益財団法人東北活性化研究センターとの相互協力の覚書締結

山形大学は、公益財団法人東北活性化研究センターと東北創生に向けた地域の産業力向上と地域活性化を目的として連携協力することとし、11月1日（日）に相互協力に関する覚書を締結しました。

詳細は別紙通知をご覧ください。

2. 鶴窓会庄内支部主催講演会「夕日を釣りあげた男」を開催します

◇日時：11月12日（木）13:00-14:30

◇会場：山形大学農学部3号館3階301講義室

◇講師：加茂水族館前館長 村上龍男 氏（山形大学農学部昭和38年卒業）

詳細は別紙通知をご覧ください。

3. 人文学部4年の田川友子さんが「大学院早期学修プログラム」を履修しています

詳細は別紙通知をご覧ください。

4. 創部3年目のフェンシング部が全国大会で準優勝しました

詳細は別紙通知をご覧ください。

5. 医学部5年の橋本紗枝子さんが全日本大学女子駅伝で力走しました

詳細は別紙通知をご覧ください。

以上

平成27年11月4日
山形大学

公益財団法人東北活性化研究センターとの相互協力の覚書締結

山形大学は、公益財団法人東北活性化研究センターと東北創生に向けた地域の産業力向上と地域活性化を目的として連携協力することとし、相互協力に関する覚書を締結しました。

1. 目的

相互の緊密な連携と協力により、東北地域の抱える課題に適切に対応し、もって地域社会の発展と産業の振興に寄与することを目的とする。

2. 連携事項

- (1) 共同で実施する事業の企画、調整及び推進に関すること
- (2) 東北創生に係るプロジェクト事業の支援に関すること
- (3) 東北創生を担う地域人材の育成事業に関すること
- (4) その他、目的を達成するために必要な事項に関すること

3. 覚書締結日

平成27年11月1日（日）（※期間は、3年間。以後1年更新。）

（参考）

公益財団法人東北活性化研究センター
〒980-0021 仙台市青葉区中央二丁目9番10号
TEL:022-222-3357 FAX:022-225-0082
HP: <http://www.kasseiken.jp/>

（お問合せ先）

山形大学エンロールメント・マネジメント部社会連携課
電話 023-628-4843

鶴窓会庄内支部主催講演会

「夕日を 釣りあげた男」

加茂水族館前館長、山形大学農学部昭和38年卒業

村上 龍男 氏

日時

2015年 **11月12日** (木)
13:00-14:30

会場

山形大学農学部3号館
3階301講義室

参加料

無料 (申込不要)



村上 龍男 (むらかみ たつお) 氏

●1963年山形大学農学部卒業。東京都生まれ。1966年に鶴岡市立加茂水族館の職員となり、翌年水族館の民営化と同時に館長に就任。クラゲを主役に据える発想で2012年にはクラゲの展示種数が世界一の水族館としてギネスに認定。今年3月に館長を引退し、現在は同館シニアアドバイザーとして活躍。

<お問い合わせ先>

鶴窓会庄内支部

FAX : 0234-23-0840

E-mail : ttoshi@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

主催：鶴窓会庄内支部

後援：山形大学農学部

※本講演会は山形大学校友会の山形大学卒業生の「人財バンク登録事業」の一環で実施しております。

平成27年11月4日
山形大学

人文学部4年の田川友子さんが「大学院早期学修プログラム」を履修

人文学部法経政策学科4年の田川友子さんが、今年4月から「大学院早期学修プログラム」を履修しています。

このプログラムは、学部4年次に科目等履修生として大学院の授業を早期に履修し、大学院入学後は最短1年で修士課程の修了を可能とする、人文学部・社会文化システム研究科独自の制度です。

田川さんは、地域政策論ゼミに所属して長井市や山形市高瀬地区等で実践を重ねる中で、もっと学修を深めたいと感じていた昨年秋に本プログラムを知りました。そして、迷わず出願、初めての履修者となりました。現在は、山本匡毅准教授の指導で「地方圏におけるクラスターの形成と展開」について研究を進める一方、出身地の福島県桑折町の観光キャンペーンクルーの一員として中央官庁はじめ全国を飛び回っています。

「将来は東日本大震災で被災した地元を活性化したい」と人文学部に入学した田川さんは、「大学院の授業も始まり、より一層充実した毎日です！やることはたくさんありますが、忙しいほど楽しい私の性格に合っています」と語っています。



(お問合せ先)

山形大学総務部総務課広報室 樋口

電話：023-628-4008

MAIL：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成27年11月4日
山形大学

創部3年目のフェンシング部が全国大会で準優勝

山形大学フェンシング部（星洋一郎部長；部員18名）が、8月24日に東北大学で開催された全国国公立大学フェンシング選手権で、男子団体総合と同フルーレで準優勝の成績を収めました

同大会はフルーレ17大学、エペ15大学、サーブル14大学が参加して行われ、本学フェンシング部は、前部長の荻原賢悟さん（地域教育文化学部3年）らが入学した3年前に創部した直後のフルーレ3位に続く快挙となりました。

10月20日に学長室を訪問した星部長と荻原前部長は、フェンシングのルールや競技施設、フェンシング部の活動状況について詳細に報告。小山学長からは、「3年前は3位、今年が準優勝とくれば来年は優勝だね。ぜひ頑張ってください」とメッセージが送られました。

準優勝メンバーは以下の7名です（敬称略）。

荻原賢悟（地域教育文化学部3年（前部長））、今井秀幸（工学部3年）、鈴木陽平（理学部2年）、情野学（工学部2年）、星洋一郎（人文学部2年（部長））、尾形優（医学部1年）、梅津勝平（工学部1年）



（お問合せ先）

山形大学総務部総務課広報室 樋口

電話：023-628-4008

MAIL：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成27年11月4日
山形大学

医学部5年の橋本紗枝子さんが全日本大学女子駅伝で力走

10月25日に仙台市で行われた第33回全日本大学女子駅伝大会に、医学部医学科5年の橋本紗枝子さんが東北学連選抜チームの一員として参加しました

今年初めて参加した予選大会で好タイムを出した橋本さんは、見事、東北学連選抜のメンバー8人に選ばれ、大会当日は6名の出走メンバーとして4区（4.8キロ）を力走しました。高校時代から陸上選手だったという橋本さんは、現在医学部の陸上競技部（部員約80名）に所属。忙しい医学実習がある中で、週6回、朝晩の練習に励んでいます。

「テストがあるときの練習はつらい」という橋本さんですが、今回のタイム（18分06秒）については、「悔しい、来年も走りたいです！」と笑顔で語ってくれました。



（お問合せ先）

山形大学総務部総務課広報室 樋口

電話：023-628-4008

MAIL：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp